

平成26年度事業計画

平成26年4月1日から平成27年3月31日
特定非営利活動法人新潟情報通信研究所

1. 事業実施の基本方針と活動

地域に根ざした、身の丈に合った活動を基本に、世の中のニーズ、流れにフィットする視点を持って活動します。具体的には

- ・人材育成の観点から、若手会員の増を図ります、講演会を実施します、定例会を開催します。
- ・小さくても良いので地域に役立つ何かを形できるよう努力します。(ガバメント2.0など)

2. 実施事業

(1) 若手会員の増等

- ①既存会員より一人・ひとり勧誘作戦を実施し、次世代を担う、ユニークなアイデアを磨けば出せると思われる人材を募ります。8月までに10名程度を目標にします。
- ②会員が増えたらH25年度同様、インパクトのあるセミナー（講演会）を開催し、情報収集、ものの見方、考え方が変化する一助となるような機会を設けます。
- ③会員の相互の繋がりを重視し、連携が取れるよう、定期的な会合を設定します。(月1回以上)
- ④セミナーの開催は年間10回を目標にします。(OPENで実施するのはセキュリティセミナーと他に1回程度、費用的には、NPO開催8回、他組織との相乗り2回)
- ⑤NPOのメールを積極的に活用し、多忙会員から若手への情報提供や若手からの相談等にも対応します。
- ⑥産学官の連携も活動の一つであることから、新潟大学からの補強を図ります。

(2) 対外的にNPO新潟情報通信研究所を知っていただく努力をします(会員増等のため)

- ①インターネット上のホームページを魅力あるものに変えて、週に一回位は手を入れられるようにします。
⇒具体的には、若い感性を十分にホームページに載せられるよう、NPOのホームページを使って若い会員が試したり、主張できる部分を作ります。
- ②著名な方をお呼びして、講演会を実施します。具体的には「セキュリティセミナー」や例えば「伝える」と言う演題で放送局の方から講演を願うとか、会員のニーズも聞きながら且つ外部にも開放する部分を作ります。(講師はプロボノ等を利用して募集します)

(3) 小さいものを形にするために

- ①スマホやタブレットを使い、安価で一般市民が行政に参加できる、ガバメント2.0などを何とか形にできるよう知恵を出し合います。
- ②これからが期待されるWSUNについて、情報と技術を先取りして、全国に先駆けて新潟県のどこかで実証実験等ができるよう中央との連携を密にします。必要に応じ出向きます。

③だまっいては入ってこない情報を得るため、必要に応じ、東京等に若手を派遣します。情報を収集したら、それらを会員に伝えると言うサイクルを作ります。

(4) NPOの運営費について

①平成26年度も賛助会員からの会費は徴収しないで運営します。

②ボランティア精神を中心に置き、必要最小限度の活動費用で運営します。